



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月10日  
東

上場会社名 株式会社大運 上場取引所  
コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高橋 健一  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 吉野 弘一 (TEL) 06-6532-4101  
四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,847	△3.8	108	—	159	239.8	178	190.6
27年3月期第3四半期	5,038	4.2	9	△88.2	47	△49.5	61	△45.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	2.87		—					
27年3月期第3四半期	0.98		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,636	2,309	41.0
27年3月期	5,856	2,192	37.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,309百万円 27年3月期 2,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△3.8	90	445.7	130	99.6	130	17.5	2.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	62,280,394株	27年3月期	62,280,394株
28年3月期3Q	111,253株	27年3月期	107,933株
28年3月期3Q	62,170,529株	27年3月期3Q	62,176,547株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務情報に関する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)におけるわが国経済は、原油価格の低下の影響や政府の経済政策等により、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、中国をはじめとする海外経済動向など景気の先行き不透明感は増しつつあります。

当業界におきましては、規制緩和と荷主メーカーの物流コスト見直しによる低価格化競争が一段落し、取引採算の改善を検討しつつある状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、取引採算の確保、経費の削減に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)における当社の業績は、円安に苦しむ輸入関係取引を中心に営業収入は伸び悩みましたが、取引採算は回復してまいりました。主な要因として、比較的取引採算の良い業者を中心に受注が増加したこと、原油価格の低下に伴う燃料コスト低下、経費削減効果等があります。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は4,847,726千円で、前年同四半期累計期間と比べ191,207千円(3.8%)の減収となりました。しかしながら、営業利益は108,837千円で、前年同四半期累計期間と比べ99,141千円(1,022.5%)の増益、経常利益は159,829千円(239.8%)の増益となりました。また、四半期純利益は178,490千円(190.6%)の増益となりました。営業外収益121,023千円のうち36,627千円は保険解約返戻金、22,078千円は受取家賃、特別利益66,265千円のうち51,971千円は投資有価証券売却益であります。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

## ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安継続の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものであります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、4,677,407千円で、前年同四半期累計期間と比べ、174,532千円(3.6%)の減収となり、全セグメントの96.5%を占めております。

しかしながら、経費削減等の影響で、セグメント利益(営業利益)は、377,747千円で、前年同四半期累計期間と比べ、73,743千円(24.3%)の増益となりました。

## ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続いておりますが、原油価格の低下や非効率業務の協力下請会社への移行等により、利益率は改善傾向にあります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、164,926千円で、前年同四半期累計期間と比べ、15,398千円(8.5%)の減収となり、全セグメントの3.4%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、25,631千円で、前年同四半期累計期間と比べ、20,265千円(前年同四半期累計期間は△45,897千円)の減益となりました。

## ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入が伸び悩みました。

この結果、営業収入は、5,391千円で、前年同四半期累計期間と比べ、1,276千円(19.1%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、5,309千円で、前年同四半期累計期間と比べ、1,255千円(19.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より228,996千円減少して3,257,050千円となりました。これは現金及び預金の減少228,712千円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より11,000千円増加して2,367,520千円となりました。これは車両運搬具(純額)の増加52,453千円、のれんの減少20,948千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第3四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より2,924千円減少して11,440千円となりました。これは社債発行費の減少2,924千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より602,967千円減少して1,470,930千円となりました。これは短期借入から長期借入(シンジケートローン)への切替等による短期借入金の減少675,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加109,465千円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より264,644千円増加して1,855,204千円となりました。これは短期借入から長期借入(シンジケートローン)への切替等による長期借入金の増加396,029千円、社債の減少96,150千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より117,402千円増加して2,309,876千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の減少60,917千円、繰越利益剰余金の増加178,490千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、平成27年11月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

当第3四半期累計期間は、営業利益108百万円、経常利益159百万円、四半期純利益178百万円を計上しており、すでに通期業績予想の営業利益90百万円、経常利益130百万円、当期純利益130百万円を上回る数字になっておりますが、通期業績予想は、日本の正月、中国の旧正月の影響による1～2月の業績落ち込み及び中国の景気減速傾向を織り込んでおります。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,300,115	2,071,403
受取手形	1,546	8,202
営業未収入金	738,691	705,633
立替金	409,800	428,174
その他	41,978	50,549
貸倒引当金	△6,085	△6,913
流動資産合計	3,486,046	3,257,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	170,534	159,101
構築物(純額)	3,412	3,156
機械及び装置(純額)	13,869	10,848
車両運搬具(純額)	36,464	88,917
工具、器具及び備品(純額)	9,885	9,131
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	22,229	14,713
有形固定資産合計	832,578	862,052
無形固定資産		
のれん	335,172	314,224
その他	74,662	56,862
無形固定資産合計	409,834	371,086
投資その他の資産		
投資有価証券	836,448	820,125
差入保証金	96,319	94,881
その他	436,815	493,532
貸倒引当金	△255,477	△274,157
投資その他の資産合計	1,114,106	1,134,381
固定資産合計	2,356,519	2,367,520
繰延資産		
社債発行費	14,364	11,440
繰延資産合計	14,364	11,440
資産合計	5,856,931	5,636,011

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	44,784	43,364
営業未払金	528,050	505,348
短期借入金	675,000	—
1年内償還予定の社債	174,800	156,800
1年内返済予定の長期借入金	471,018	580,483
未払金	59,069	83,995
未払法人税等	14,502	27,505
賞与引当金	35,360	9,088
その他	71,313	64,345
流動負債合計	2,073,897	1,470,930
固定負債		
社債	488,800	392,650
長期借入金	808,500	1,204,529
退職給付引当金	236,567	213,614
その他	56,692	44,411
固定負債合計	1,590,559	1,855,204
負債合計	3,664,457	3,326,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,446	433,446
資本剰余金合計	747,751	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△867,620	△689,129
利益剰余金合計	△861,764	△683,273
自己株式	△10,873	△11,044
株主資本合計	2,269,512	2,447,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△77,038	△137,955
評価・換算差額等合計	△77,038	△137,955
純資産合計	2,192,474	2,309,876
負債純資産合計	5,856,931	5,636,011

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収入	5,038,933	4,847,726
営業原価	4,753,238	4,469,282
営業総利益	285,695	378,443
販売費及び一般管理費	275,999	269,606
営業利益	9,696	108,837
営業外収益		
受取利息	104	89
受取配当金	16,441	18,795
保険解約返戻金	—	36,627
受取手数料	17,736	18,296
受取家賃	22,113	22,078
雑収入	26,967	25,135
営業外収益合計	83,363	121,023
営業外費用		
支払利息	35,639	27,893
社債発行費償却	2,663	2,924
貸倒引当金繰入額	1,236	—
支払手数料	—	25,430
雑損失	6,486	13,784
営業外費用合計	46,026	70,031
経常利益	47,033	159,829
特別利益		
固定資産売却益	3,059	14,293
投資有価証券売却益	22,316	51,971
特別利益合計	25,376	66,265
特別損失		
固定資産除却損	75	540
投資有価証券売却損	—	3,487
投資有価証券評価損	—	7,815
特別損失合計	75	11,843
税引前四半期純利益	72,334	214,250
法人税、住民税及び事業税	10,915	35,760
法人税等合計	10,915	35,760
四半期純利益	61,419	178,490

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。